

毎日子どもたちのさまざまな成長がみられるランチルーム。子どもたちがもっと楽しく、もっとおいしく食事ができるように始めた新しい環境作りや子どもたちの育ちを紹介します。

## 共食って？

「昨日の夜、魚を焼いてみんなで食べたよ」「お兄ちゃんのご飯を3杯も食べたんだよ！」と家庭での食事を楽しそうに教えてくれる子どもたちですが、現代では家族で食卓を囲む時間(共食)が減り、家族が別々に食事をする事(孤食)が増えているようです。

## 孤食って？

友だちや保育者、調理員と一緒に食べる給食は貴重な共食の場であり、子どもたちにとって良い経験になっています。

### 共食の中で育っているよ！

好きな友だちと隣で一緒に食べたいな、という気持ち

一緒に食べようよ！と食べたい人を誘える心

給食をこぼしちゃった時お兄さんお姉さんが拭いてくれたよ嬉しかった

みんなと食べると楽しくて、何倍もおいしく感じるね

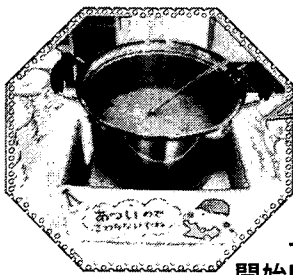
マナーがよくない友だちがいたら教えてあげる勇氣

きれいに食べ終わった友だちを見て「食べてみよう！」とがんばる気持ち

栽培したり、料理を作る人、食事の支度をする人・・・いろいろな人のおかげでおいしい給食が食べられることへの感謝の気持ち

### 子ども同士で学んでいます！

先日、つついおしゃべりが大きくなってしまった友だちに、5歳児の男の子が「静かにして。まわりに迷惑だよ」としっかりと教えている姿がみられました。注意された子どもたちもハッとして自分の行動を見直すことができていました。



電磁調理器を使ってまーす！

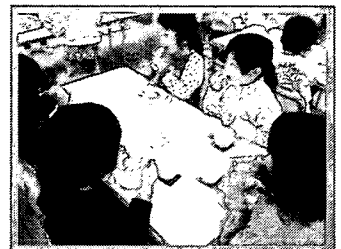
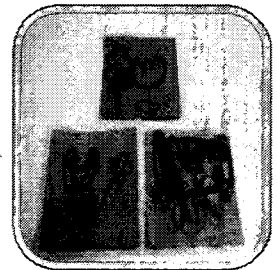
11月からランチルームの電磁調理器の使用を開始しました。常に温かい味

噌汁やスープが飲めて「あったかいね！」「あとでおかわりに来るね」と嬉しそうな子どもたちです。危険のないようお手製のカバーを用意しました。



おやつで使うコースターです

おやつ時、自分が座る席の目印になるように一人ずつコースターを製作しました。テーブルが華やかになり、喜んでいきます。コースターを置いてからおやつを取りに行きます。



## 2) 在園児の家庭との連携

保育園と家庭が連携して食育を進められるように取り組んできました。それらは、①掲示物  
②試食会 ③食育講座 ④保護者懇談会 ⑤食育発表 などです。  
今年も、給食の展示、園だより、給食だより、クラスだよりの配布を行いました。

### (1) 掲示物

掲示による情報提供は“掲示レシピチーム”が担当し、園の玄関に入ってすぐの調理室前から事務室前の廊下の掲示コーナーで行っています。たくさんの保護者の目にふれる場所であり、送迎の際に立ち寄っています。

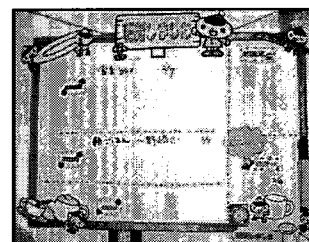
《ねらい》

- ・子ども、保護者、地域に向けて「食」への興味、関心を高めるような情報を提供する
- ・園の食育の取り組みを伝え、親子のコミュニケーションの場とする

《内容》

- ・毎月の特集（下記参照）
- ・おすすめレシピの紹介
- ・食育BOXの設置
- ・食育ポケット(食育メモの紹介)
- ・旬の食材の展示、伝統食の由来など(調理員と一緒に作成)
- ・とっげき！となりの朝ごはん(家庭の朝ごはんの紹介)
- ・他園の取り組みの紹介

P 43～45参照



\*これらの掲示の更新が分かるよう「更新しましたボード」を玄関正面に設置しています。

[毎月の特集 H19年度計画表]

月	タイトル	内 容
4	文京保育園の食育活動	保育園の食育活動の取り組みを紹介
5・6	遠足のお弁当	保護者へのアンケートをもとにお弁当のおかず人気ベスト3や保護者のお弁当の思い出を紹介
7・8	忙しい日の夕食作り	保護者からのリクエスト企画 短時間で料理する工夫の仕方や、おいしいレシピの紹介
9	相模原の地場野菜	野菜の原産地の紹介と地場野菜について
10	文京ドリームランド	食べ物を折り紙で作る遊びの紹介
11・12	給食室のひみつ	あまり知られていない給食室の中を掲示で紹介
1	お箸 de すごろく	お箸の起源から、マナー、選び方までをすごろく形式で特集
2	絵本の中のおいしいレシピ	絵本に載っている食べ物をレシピつきで紹介
3	食育活動	1年間の食育活動の報告

- ・特集では、『親子で楽しく。夢のある掲示を』をモットーに作成しています。情報を提供するだけでなく、読んで楽しめるように『忙しい日の夕食作り』では、忍者が短時間でおいしくできる料理を紹介しました。『給食室の秘密』では、給食で使う食材の量や家庭では見られない大きな回転釜や自動皮むき機などをクイズにして載せました。

### [とつげき！となりの朝ごはん]

19年度から始まった新しいコーナーです。保護者からの「皆さんは、どんな朝食を食べているのですか?」という質問からヒントを得て企画しました。保護者に朝食の写真を撮ってきてもらい、『食』に関するこだわりをインタビューして載せています。朝食だけでなく、家庭の料理や食卓風景、子どもしたことなどについても話をすることができます。また、職員も保護者と同じような目線で朝食の大切さを考えたいと、朝ごはんシリーズに掲載しています。どの方も声をかけると快く引き受けてくれ、今までに40件以上掲示しました。掲示コーナーがより一層楽しみになったという声も寄せられています。

## (2) 試食会

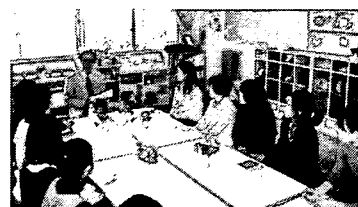


子どもたちが毎日食べている給食やおやつを保護者にも味わってもらおうと、調理員からの提案で試食会を行いました。献立は子どもたちの人気メニューの中から厳選しました。調理員が作り方やワンポイントアドバイス、栄養素などの話をし、和気あいあいとした雰囲気の中「かきたま汁の卵がふわっといかないのですが…」などたくさんの質問がありました。保護者も、調理員、保育士も「直接話し合える機会があつてよ

かった」と意見が出ていました。アンケートでは、「薄味だけどしっかりとだしがきいていておいしかった」「家庭ではあまり使わない食材や調理法があり、取り入れていきたい」「また来年もやってほしい」などの感想がありました。レシピも配布すると「ぜひ、家でも作ってみます」と、実際に作って写真を撮ってきてくれた保護者もいました。感想は掲示コーナーに貼り出し、参加できなかった保護者にも見られるようにしました。

## (3) 食育講座

保護者を対象に食育講座を開催しています。今年度は、白梅学園短期大学教授・師岡章先生による『家庭で大事にしていきたい食育』というテーマで、参加した保護者はじっくりと耳を傾けていました。講演会後寄せられた感想では、「食べることの大切さを再認識しました」「食育そのものの意味が良く理解できました」「また、今日から楽しい食事を心がけてがんばります」「我が家風の食育をしていきたいと思います」など食の大切さ、食育をととても身近に感じられたというものが多くありました。



#### (4) 保護者懇談会

今年度は保育課の栄養士が参加しミニ講座『ごはんを食べて元気 100 倍』というテーマで、各年齢に応じた食についての大切さを専門的な立場から話しました。熱心に話を聞き質問している保護者の顔が印象的でした。また、0、1歳児の懇談会では、園で実際に食べている離乳食を段階を追って紹介しました。参加できなかった保護者にも閉園時間まで見られるように展示しました。

#### (5) 食育発表

保護者に園での食育活動の取り組みについて私たちがどのような願いをこめて活動しているのか、子どもたちの日常の様子を交えながら話をしました。「園での取り組みが良く分かった」「子どもたちの生き生きとした表情が良かった」「大きい子どもたちの活動を見て、あんなこともできるようになるのかと驚いた」といった感想がありました。

今までは、園だよりやクラスだより、掲示、懇談会で折にふれ報告していました。こうして発表するのは初めてでしたが、保護者との理解が深まりお互い良い機会になりました。

ホームページには園だより、食育計画、子どもの活動や各チームの取り組みを載せています。

(<http://www.kodomo-shokuiku.jp/>)

#### 《評価・反省》

掲示ではどうしたら保護者と一緒にやっていけるか、同じ目線で対等な関係を作れるかを考えやってきました。そのためにはまず興味を引くものを作ることが大切でした。最初は見ている保護者が限られていましたが、試行錯誤して続けていくうちに、子どもたちがコーナーに興味をもって行くと、保護者も一緒に目を向けることが分かり、まず子どもの喜ぶものと考え取り組みました。そうして、親しみのある掲示が生まれました。

『とつげき！となりの朝ごはん』も、食育の積み重ねによって保護者との関係が築かれていき好評をよんだのだと感じます。掲示はきっかけにすぎません。ここから会話が生まれ人と人とのつながりができていく、このことを強く感じたコーナーです。

今年度は保護者にこちらから積極的に声をかけアンケートも直接手渡しをお願いし、それを利用して特集を作ることも行いました。また、食育講演会、試食会、食育発表に関しても、手紙だけでなく声もかけていきました。これらを通して人と人とのつながりの大切さ、待っているだけでは何も生まれないことを感じました。

これからも保護者のニーズに応え、関心をより高めていけるよう考えていきたいと思います。来年度は、保護者と職員、保護者同士で『食』について気軽に会話ができるよう、さらに一緒に作り上げる掲示、企画を目指していきたいと思います。



# 掲示・レシピ コーナー



2007. 8月

漬け込み

(6月6日)

## 給食室横に梅の実がなったよ!

今年も梅の実がたくさんなり、梅の実を漬けて、掲示コーナーに展示しました。子どもたちは毎日、砂糖が溶ける様子などを見に来ていました。

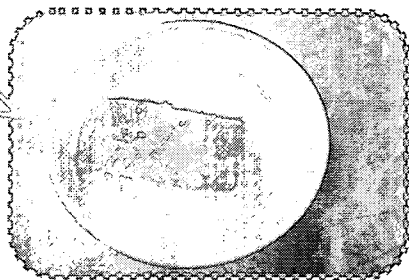
1週間ほどで出来上がった梅ジュースは、給食室で調理し、おやつ時の梅ゼリーになりました。



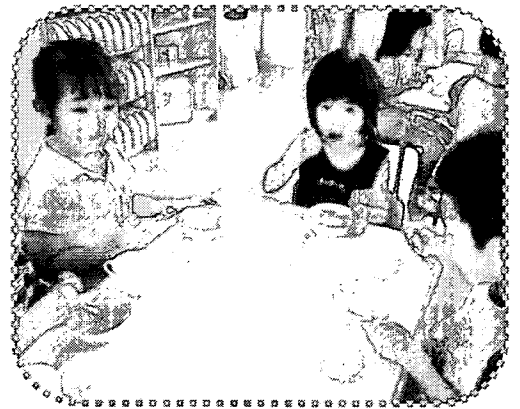
「これ、なに?」

興味津々の子どもたちです。

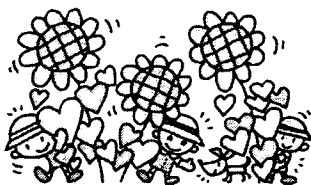
果肉入りの、おいしい梅ゼリーの出来上がり!



おやつタイム



「おいしいね」、  
「すっぱーい!」と  
味わっていました。

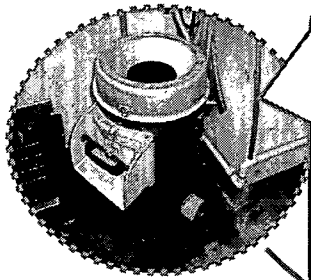




## 給食室のひみつ

ランチルームに、いつも来てくれる給食室の先生は、みんなの給食をどうやって作っているのかなー？

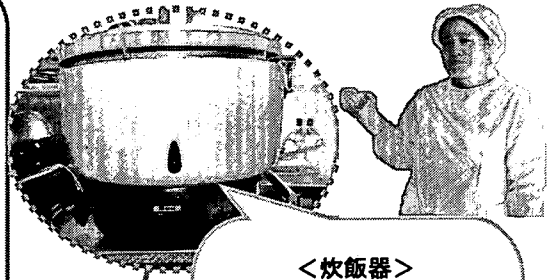
実は、知らない器具をたくさん使って作っていたのです！



### <自動皮むき機>

じゃがいもや、さといもの皮むきはおまかせ！

凹凸のついた大きな石の板が水圧で回転して、それに野菜が当たって皮がむける仕組みになっています。



### <炊飯器>

クイズ！！

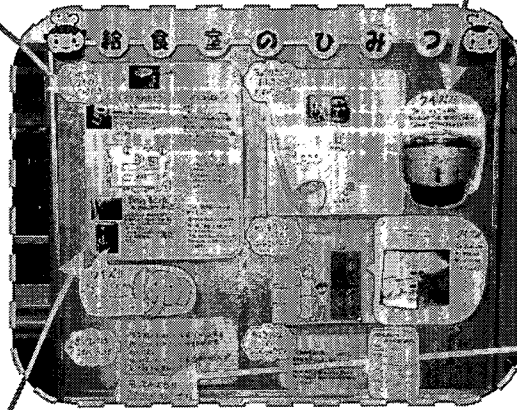
給食室にある炊飯器では、何キログラムのご飯が炊けるのでしょうか？

(答えは左下にあります)

### <まな板殺菌庫>

まな板・包丁は衛生面を考慮して、「野菜切り用」「くだもの用」「生もの用」「パン用」「仕上げ用」と区別をして使っています。

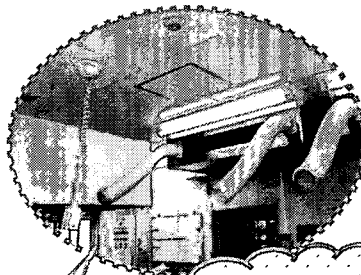
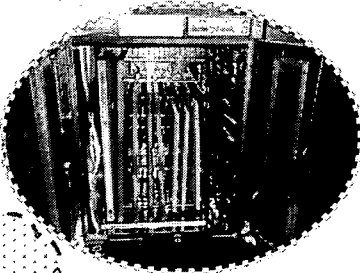
まな板・包丁を清潔に保管できるように殺菌機能のついた保管庫です。



### <持ってみよう！>

保育園の子どもたち全員分の給食を作るには、たくさんの材料が必要です。

例えば、カレーチューならじゃがいもだけで6.5kgが必要となります。



クイズの答え

8kg

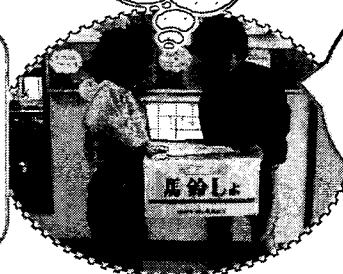


うーん！  
重たいなー！

### <スポット吹き出し口>

茹でたじゃがいもなどを急速に冷やしてくれます。

まるで、ゾウの鼻みたい！！



実際に6.5kgのじゃがいもを持てるようにしました。



# 本庄さん家の朝ご飯



## 《エジプト風モロヘイヤスープ》

① 玉ねぎをくし型に切って塩をまぶして鍋に入れておく。

人参・じゃがいもはサイコロがたに切っておく。オクラは塩もみをし、輪切りにして電子レンジで1分30秒くらいかける。にんにくはみじん切り。鶏もも肉は半分を皮をむき一口大にきっておく。

② 玉ねぎをきつね色になるまで炒め、にんにくも炒めたら水を入れて煮る。

③ あくをとってブイヨンを入れる。モロヘイヤを細かく刻んで、ネバネバしてきたら鍋に入れて少し火をとおり、火を止めてからオクラとビーンズの缶詰を入れる。

- ♪ エジプト風
- モロヘイヤスープ
- ♪ 十六日パン
- (マーガリン)
- ♪ 牛乳
- ♪ 果物

ペランタで  
育てています♪

3) 地域との連携

連携先	地場野菜「ふるさと生活技術指導士」の渋谷さん	市食生活推進団体「わかかな会」	若松小学校との交流
ねらい	市内で野菜を生産している人の姿や、収穫した新鮮な野菜や花を見ることが興味、関心をもつ生産者の話を聞き、感謝の気持ちをもつ	うどんの材料や作り方を知るうどんの生地踏み体験し、感触を楽しむ茹でたうどんをわかかな会の人たちと一緒に食べ味わう	田植えや収穫を小学生と一緒にに行い、交流を深める生長を観察し、命の不思議さや大切さを知る
内容	渋谷さんが育てた泥つきの野菜や、成長過程に咲く花を見せられない話を聞く新鮮な野菜を給食で味わう	子ども15名ほどのグループにわかかな会の人が2名ずつついて、小麦粉と水を合わせて生地をつくる様子を見学する。子どもたちはバサバサしたものがしっとりまとまるまでの変化に興味深そうに見ていた。生地踏みは一人ずつ体験し「やわらかい」「あったか～い」と生地のやわらかさやぬくもりを感じていた。さらに生地をのばして切り、茹でる様子も見せてもらい、給食でわかかな会の人と一緒に食べた。	5年生が行う田植えの様子を見せてもらう。興味深そうにみていたので、実際にやらせてもらうことになった。一人ずつ学校の先生から苗をもらい、土の感触など楽しみながら田植えを行った。小学生と一緒に行うなどふれあいができた。稲刈りは鎌の使い方の説明を聞き、小学生のやっていた姿を見てから、保育士と一緒に行った。
年齢	2～5歳児	3～5歳児	4歳児
成果	八百屋やスーパーに並んでいないような泥つきの野菜や成長過程に咲く花を見たり、触れたりすることで、野菜の特性や、大きさ、重さ、感触、匂いなどを実感でき、野菜への興味・関心が深まった。また、新鮮な野菜をその日に食べることで、食材の形態の変化に気づいたり味わいながら会話を楽しんでいた。	小麦粉からうどんができる工程を覚えてもらい、五感や創造力を体で感じる事ができた。食べ物ができるまでに、さまざまな人や仕事があることを感じとれた。「自分で作るとおいしい」「食べるって楽しい」を経験することで達成感、充実感を味わえ子ども同士の会話からもうかがえた。	園では5歳児の田植え、稲刈りを見ていただけであったが、実際に行ってみることで米づくりに興味を示す。小学校に行き生長の様子など見る機会もつくり、園の稲と比べたりする姿も見られた。本などで米づくりの工程を調べるなど興味も広がり、脱穀・籾すりなども子どもたちが積極的に行うなど栽培活動に広がりが見られた。一組に田植え・稲刈りをして、小学生を身近に感じることができた。
課題	生産している人からの話の中で、子どもたちが育てている野菜と同じものがあると一段と関心が強く、内容に深まりがあり、会話が活発になっていた。	家庭にある身近な材料に少し手を加えると“おいしいもの”に変化することを知り、創造性をふくらませることができた。クッキングを通して地域の人と関わりを持つことができた。	米づくりは3歳児の頃から5歳児の栽培活動の中で目にした水やりを手伝った経験があった。今年度も5歳児は米づくりをしたため、4歳児が5年生が行う田植えと稲刈りに参加した。
連携のプロセス	子どもたちの関心が高く、今後も旬にあわせて計画的にすすめていきたい	次年度の計画を早めに調整し、伝統食や郷土食など子どもに伝えたいと思う。	子どもたちにとって良い経験だったので、来年度にもつなげていきたい。
評価・反省	地域で地場野菜を生産して「ふるさと生活技術指導士」として活動している渋谷さんとは2年目となった。当初、年2～3回季節ごとに実施したい思いがあったが渋谷さんは地域や市の活動が忙しく、1回の実現だった。	地域で食育をすすめている「わかかな会」とは2年前から市の地域保健課から保育士の栄養士を通して話があった。保育園からアプローチをしたが内容、日程等折り合いがつかず前年度は見送り、今年度の実施することになった。	昨年度は食育モデル園として取り組むことを立ち話し程度で校長・栄養士に伝えていた。今年度は「何か一緒に取り組むことができるか話し合いの場を設けることができた。それぞれ生活の時間帯が異なり難しさがあつたが、後日担当教諭から連絡が入り実現することができた。
	子どもたちは渋谷さんを覚えていて心待ちにしていた。今回、渋谷さんの提案で“花”を見て何の野菜かクイズ形式ですすめた。子どもたちも積極的に参加し、特に子どもたちが栽培してみたい花があると自信をもって答えたり、質問もたくさん出ていたのが印象的だった。その日の給食に入ったので、感謝の気持ちをもちながら残さず食べていた。	うどん作りを経験することで素材を五感で楽しみ、感じ、手をかけることに変化する粉は創造力を育む要素がたくさんあり感動していた。	小学校の予定がわからず計画をたてることが難しかった。小学校では田植えから収穫、おはぎづくりなど計画があった。その都度連絡があり参加したが、おはぎづくりは衛生面で折り合いがつかず参加できず残念であった。



#### 4)子育て支援(地域の子育て家庭)にむけて

##### (1)ねらい

保育園が拠点となり専門的知識や経験、技術を活用して地域の子育て家庭の食に関する不安、負担を軽減し家庭や地域の子育て力を高める。

##### (2)活動の実際

###### ① 園行事への参加・園庭開放・育児教室等

地域の親子が保育ウィーク、ひなまつり会や地域交流事業の「わくわくらんど」で園児といっしょにあそぶ機会を作り、母親の不安を軽減するようつとめています。また、育児教室等では食に関する紙芝居、ペープサート、手遊び、ふれあいあそびを楽しんだり、親子で製作をし、家庭で活用できるようにしています。食事中のしつけ、食事の場面に限らず、生活リズムや十分な運動など子どもの生活全般から食育の助言をしています。母親同士も交流を深めたり、子どもの自然な発達、成長を確認する良い機会となっています。

###### ② 掲示・おすすめレシピ等による情報提供

園庭開放、地域交流事業、一時保育利用時の来園者に掲示コーナーでの情報や給食のおすすめメニューのレシピを提供し、離乳食や偏食などの育児相談につなげています。

###### ③ 食に関する育児相談(育児教室・一時保育・来園者)

園庭の開放を毎日実施しており、園児とのふれあいの中で安心したり、気軽に育児相談できる環境を整えています。相談内容は母乳・離乳食、食事中のしつけ、栄養、卒乳、偏食、おやつとの与え方など多岐にわたり、近年は母親の育児不安も多く、相談事業は重要な役割を担っています。地域での育児教室(えくぼ)、他機関(こどもセンター、保健所)と連携した事業(ふれあい親子サロン)、出前保育などでも相談を受け付けています。電話での相談も増えています。

##### (3) 来年につながる評価・反省

園庭開放も定着し「掲示コーナーの更新を楽しみにしています」「来るたびにホッとします」など利用している母親からの声があり、リピーターが増えています。一方で母親の情緒が不安定であったり、育児全般の不安が強くその結果食事にも関心がもてない家庭が増えています。また、核家族化から食生活の基本的な事柄を伝承する役割も保育園が担う必要もあります。保育園の相談、対応の限界もあり、必要に応じて他機関を紹介、仲介するなど連携はいつそう望まれています。

#### 4. まとめ

保護者との連携をより深めるために今年度は『とつげき！となりの朝ごはん』など新たな企画を立ち上げました。保育園の食育実践についてだけでなく、子どもの成長や生活の悩みなど保護者と職員の会話が増し、理解、協力が得やすくなりました。さらに特集の企画についての、保護者の協力や実践をお知らせする『文京かわらばん』も作り新たな取り組みとなっています。

毎日の生活の中で「子どもの成長」という嬉しい実感を感じることができました。2歳児がラップの芯であそびながら「うどんを作ってるの」と幼児の様子を真似したり、幼児組への移行準備のために幼児ランチに参加を始めると、それを励みに食べたルールを守ろうとする姿がみられました。3歳児はすまし汁の中に箸をいれると曲がって見えることを発見して驚いたり、4～5歳児も、献立の中にガーリックなど形のない食材が入っていても味を感じとったり、自分たちが栽培した野菜などを小さい子どもが欲しそうにしている気持ちを理解してあげるなど科学的な目や優しい気持ちが育っています。

文京保育園では保育計画の中から食育について抜き出し食育計画を作成していましたが、保育計画の中でたくさん隠れているものにも気づく良い機会となりました。その気づきを月案の中にどう生かしていくのが難しく、話し合いや検討を重ねた結果『食』を中心にとらえた各年齢別の月案と今までのものと2本立てで計画をたててみました。0歳から就学前の時期を一人ひとりの子どもの育ちとして考えるものになっているか、また領域をまたがって『食』を総合的にとらえられているか、子どもの自発的なあそびを展開させるものになっているかなど、クラス担当だけでなくみんなで話し合いました。

この取り組みにより職員同士の連携もよりいっそう円滑にいくようになりました。迷いが出たり疑問に思うこともあり、その時は原点にかえり常に子どもの育ちを確認して話し合いを重ねてきました。

平成21年度に民営化を控えて来年度は仮園舎に移転します。今までの地域とのつながりも途切らせることなく、新たな地での拡充をしながら、この2年間で培ってきた取り組みの質を落とさず、継続し発展していきたいと思います。

## Ⅱ.相模原市上矢部保育園

### 1. 保育所の保育目標

#### 〈方針と特色〉

上矢部保育園の子どもたちが都市や自然の中で子どもらしく、のびのびと生活し、めざす子ども像に示すように、意欲をもって自ら考え行動でき、楽しく遊び、おいしく食べる子ども、自然やさまざまな人間関係の中であたたかいふれあいと、思いやりのある子どもに育てていきたいと思えます。子どもは豊かに伸びていく可能性を内に秘めています。その子どもが、今を最も良く生き、望ましい未来を作り出す力と生きる力の基礎を培うため、保育目標を定め、取り組んでいます。[保育計画:資料1-1・2]

- ◇ 養護のいきとどいた環境の中で、健康、安全など生活に必要な基本的な生活習慣(食事、睡眠、排泄、衛生、着脱)や態度を養う。
- ◇ くつろいだ雰囲気の中で、情緒を安定させ、心身の調和的発達を図るとともに、自主、協調などの態度を身につける。
- ◇ 人とのかかわりの中で、人に対する愛情と信頼感や人権を大切にすることを育てる。

#### 〈上矢部保育園の子ども像〉

- ① 心身ともに健康な子ども
- ② 意欲的に楽しく遊びおいしく食べる子ども
- ③ 思いやりのある子ども

### 2. 保育所における食育の計画づくりの方針

#### 1) 食育の位置づけ

#### 〈方針・特色・工夫〉

保育の一環として食育を捉え、生活や遊びを通して「食を営む力の基礎」を培うよう取り組んでいくことを目指しました。つまり保育そのものが「食育」というイメージで捉えて、保育計画、指導計画へ反映させました。

計画づくりにおいては、「食育」をひとつの内容の項目にしたり、食育計画として別に立てたりするのではなく、今ある各年齢の年間指導計画、月の指導計画に食育の視点をふまえた内容に青色のアンダーラインを引いて、食育を意識して保育していくことにしました。そうすることにより、「保育」=「食育」ということを明確にしなが、保育を通して食育をすすめていくことができています。

#### 〈上矢部保育園の食育の目標〉

- ① たくさん遊んでお腹のすくりズムをつくる
- ② おいしく楽しく食べる
- ③ 食事を通して人とのかかわりを広げる
- ④ 食習慣を身につける

◇保育計画 [資料1-1、2]

◇年間活動計画 [資料2-1、2]

◇年間指導計画 2歳児[資料3]

◇年間指導計画 5歳児[資料4]

保育目標		①心身ともに健康な子ども	②意欲的に遊ぶ子ども	③思いやりのある子ども
ねらい	3歳児	<ul style="list-style-type: none"> <li>安全な環境の中で、様々な遊びを経験する。</li> <li>身近な環境の中で、友だちとのつながりを広げていく。</li> <li>食事、排泄、睡眠、衣服の着脱などの生活に必要な基本的な習慣を身につける。</li> <li>異年齢児との関わりを楽しむ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>安全な環境の中で、好きな遊びや興味のある活動に自分から関わって楽しむ。</li> <li>友だちとのつながりを大切にし、一緒に活動しようとする。</li> <li>基本的な生活習慣が身につく。</li> <li>異年齢児に関心を持ち、関わりを広げる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>安全な環境の中で創意工夫しながら、様々な活動を楽しむ。</li> <li>生活や遊びの中で人の立場を考え、自覚や自信を持ち進んで活動する。</li> <li>社会生活に必要な基本能力を身につける。</li> <li>異年齢児との関わりを深め、思いやりやいたわりの気持ちをもつ。</li> </ul>
	4歳児	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分でできる事に喜びを持ちながら、基本的な生活習慣を身につける。</li> <li>身近な大人や友だちと一緒に食事をする喜びを味わう。</li> <li>楽しく食事するために必要なマナーに気づき守ろうとする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分でできる事に喜びを持ちながら、基本的な生活習慣を身につける。</li> <li>身近な大人や友だちと一緒に食事をする喜びを味わう。</li> <li>楽しく食事するために必要なマナーに気づき守ろうとする。</li> <li>進んで外で体を十分動かして遊ぶ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>基本的な生活習慣の意味やきまりを知り、その理由を理解して行動する。</li> <li>友だちと楽しく食事をする中で、体と食物の関係に関心を持ち、食習慣やマナーを身につける。</li> <li>様々な運動器具や遊具を使い、友だちと一緒に工夫して遊びを発展させる。</li> <li>自分の目標に向かって努力し、積極的に様々な運動をする。</li> </ul>
健康	5歳児	<ul style="list-style-type: none"> <li>食事、排泄、睡眠、衣服の着脱など、身のまわりのことを少しずつ身につけていく。</li> <li>食べ物や、食べることに對して興味をもつ。</li> <li>様々な遊具や用具を使った運動遊びをし、体を十分動かす。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分でできる事に喜びを持ちながら、基本的な生活習慣を身につける。</li> <li>身近な大人や友だちと一緒に食事をする喜びを味わう。</li> <li>楽しく食事するために必要なマナーに気づき守ろうとする。</li> <li>進んで外で体を十分動かして遊ぶ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の意見や主張し、相手の意見を受け入れる。</li> <li>集団遊びの楽しさがわかり、きまりを作ったりそれを守ったりして遊ぶ。</li> <li>異年齢児の子どもにも、思いやりやいたわりの気持ちを持って関わる。</li> <li>身近な人や地域の人と積極的に関わる。</li> <li>自分とは異なる文化を持った様々な人に関心を持つ。</li> </ul>
	人間関係	<ul style="list-style-type: none"> <li>友だちと遊具、遊具などを貸したり借りたり、順番を守ったりして交代しながら遊ぶ。</li> <li>異年齢児との関わりの中で、一緒に遊んだり、模倣して遊ぶ楽しさを経験する。</li> <li>身近な人や地域の人と触れ合うことを喜ぶ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>友だちと生活する中で、きまりの大切さに気づき守ろうとする。</li> <li>年下の子どもに親しみを持ったり、年上の子どもと積極的に遊ぶ。</li> <li>身近な人や地域の人と話を聞いたり話しかけたりする。</li> <li>自分とは違う文化を持った人の存在に気づく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の意見や主張し、相手の意見を受け入れる。</li> <li>集団遊びの楽しさがわかり、きまりを作ったりそれを守ったりして遊ぶ。</li> <li>異年齢児の子どもにも、思いやりやいたわりの気持ちを持って関わる。</li> <li>身近な人や地域の人と積極的に関わる。</li> <li>自分とは異なる文化を持った様々な人に関心を持つ。</li> </ul>
内容	環境	<ul style="list-style-type: none"> <li>身近な動植物をはじめ、自然現象をよく見たり、触れたりして親しみをもつ。</li> <li>コーナー遊び、縦割り活動の中に楽しく参加する。</li> <li>様々な用具、材料に触れ、それを使って遊ぶ。</li> <li>自分のものと人のものとの区別を知り、共同のものとの区別にも気づく。</li> <li>生活や遊びの中で、身の回りの色、数、量、形などに興味を持ち、違いに気づく。</li> <li>保育園の行事に参加して喜んだり楽しんだりする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>身近な動植物や自然現象に関心を持ち、遊びの中に取り入れ楽しむ。</li> <li>コーナー遊び、縦割り活動に意欲的に参加する。</li> <li>身近にある用具、器具などに関心を持ち、触れたり試したりする。</li> <li>自分のもの、人のものを知り、共同の区別に気づき大切にしようとする。</li> <li>具体的なものを通して、数や量、形などに関心を持ち、数えたり比べたりすることを楽しむ。</li> <li>保育園の行事に進んで参加する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>身近な動植物に親しみを持ち、いたわったり大切にしたり、育てるなどして生命の尊さに気づく。</li> <li>季節により自然や人間の生活に変化のあることに気づく。</li> <li>コーナー遊び、縦割り活動に進んで参加し、自分なりの役割を果たす。</li> <li>身近な用具、器具などに興味を持ち、仕組みや性質に関心を持って、安全に使用しようとする。</li> <li>身近なものを大切に扱い、自分の持ち物を整理する。</li> <li>生活の中で、位置の違いや時刻、時間などに興味や関心をもつ。</li> <li>身近な人々の生活に関心を持ち、保育園内外の行事に意欲的に参加する。</li> </ul>
	言葉	<ul style="list-style-type: none"> <li>生活や遊びに必要なことばを使ったり、あいさつや返事をする。</li> <li>自分の思ったこと、感じたことをことばに表し、保育士や友だちとのやりとりを楽しむ。</li> <li>絵本や童話などの内容がわかり、イメージを持って楽しんで聞く。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>生活や遊びに必要なことばを使ったり、日常生活に必要なあいさつを進んでする。</li> <li>自分の思ったこと、感じたことをことばに表し、保育士や友だちと会話を楽しむ。</li> <li>絵本や童話などを読み聞かせてもらいイメージを広げる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>日常的あいさつ、伝言、質問、応答、報告が上手になる。</li> <li>みんなで共通の話題について話し合うことを楽しむ。</li> <li>絵本や童話、詩などの中のことばの面白さ、美しさに気づき、自ら使ってみようとする。</li> <li>身近にある文字や記号などに興味や関心を持ち、それを使おうとする。</li> </ul>
表現	5歳児	<ul style="list-style-type: none"> <li>身のまわりの様々なものの音、色、形、感触、動きなどに気づく。</li> <li>様々な素材や用具を使って、好きなように描いたり、扱ったり、形を作ったりして遊ぶ。</li> <li>音楽に親しみ、聞いたり、歌ったり、体を動かしたりして楽しむ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>様々なものの音、色、形、感触、動きなどに気づき、驚いたり感動したりする。</li> <li>感じたこと、思ったことや想像したことなどを様々な素材や用具を使って自由に描いたり、作ったりすることを楽しむ。</li> <li>音楽に親しみ、友だちと一緒に聞いたり、歌ったり、踊ったり、楽器をならしたりして楽しむ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>様々な音、形、感触、動きなどをまわりのものの中で気づいたり、見つけたりして楽しむ。</li> <li>感じたこと、考えたことを様々な方法で自由に表現する。</li> <li>友だちと一緒に、様々な素材や用具を利用して、描いたり作ったりすることを工夫して楽しむ。</li> <li>音楽に親しみ、みんなと一緒に聴いたり、歌ったり、踊ったり、楽器を弾いたりして楽しむ。</li> </ul>
	人間関係	<ul style="list-style-type: none"> <li>友だちと遊具、遊具などを貸したり借りたり、順番を守ったりして交代しながら遊ぶ。</li> <li>異年齢児との関わりの中で、一緒に遊んだり、模倣して遊ぶ楽しさを経験する。</li> <li>身近な人や地域の人と触れ合うことを喜ぶ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>友だちと生活する中で、きまりの大切さに気づき守ろうとする。</li> <li>年下の子どもに親しみを持ったり、年上の子どもと積極的に遊ぶ。</li> <li>身近な人や地域の人と話を聞いたり話しかけたりする。</li> <li>自分とは違う文化を持った人の存在に気づく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の意見や主張し、相手の意見を受け入れる。</li> <li>集団遊びの楽しさがわかり、きまりを作ったりそれを守ったりして遊ぶ。</li> <li>異年齢児の子どもにも、思いやりやいたわりの気持ちを持って関わる。</li> <li>身近な人や地域の人と積極的に関わる。</li> <li>自分とは異なる文化を持った様々な人に関心を持つ。</li> </ul>

保育目標		①心身ともに健康な子ども	②意欲的に楽しく遊ぶ子ども	③思いやりのある子ども		
		6か月未満	1歳3か月未満	2歳未満	2歳児	
ねらい		<ul style="list-style-type: none"> <li>心身ともに快適な状態の中で過ごす。</li> <li>生理的欲求を受け止めてもらい心地よく過ごす。</li> <li>スキンシップ遊びを十分楽しむ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>安全で活動しやすい環境の中で身体的な活動を促されて楽しむ。</li> <li>一人ひとりの欲求を受け止めてもらい、気持ちよく過ごす。</li> <li>周囲の人や物に興味を示し、室内外でのいろいろな探索活動を十分に楽しむ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>安全で活動しやすい環境の中で自由に体を動かしたり好きな玩具で遊ぶ。</li> <li>安心できる保育士に見守られながら、身の回りの大人や子どもに関心を持ち関わろうとする。</li> <li>保育士や友だちと、好きな遊びを楽しむ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>安全で活動しやすい環境の中で好きな遊びをみつけて楽しむ。</li> <li>身の回りに様々な人がいることを知り、友だちと関わって遊ぶ楽しさを味わう。</li> <li>食事、排泄などの簡単な身の回りの活動を自分でしようとする。</li> <li>保育士や友だちと好きな遊びを十分楽しみ、様々な遊びへと興味、関心を広げていく。</li> </ul>	
	生活	食事	<ul style="list-style-type: none"> <li>安定した人間関係の中でゆったりとミルク(冷凍母乳)を飲む。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>離乳食を進め、様々な食材を味わう。</li> <li>楽しい雰囲気の中で食事をする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>様々な食べ物に慣れ、自分で食べようとする。</li> <li>幼児食に移行する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>楽しい雰囲気の中で、自分で食事しようとする気持ちを持ち、嫌いなものでも少しずつ食べてみようとする。</li> <li>食具の使い方を知り、落ち着いて食事をする。</li> </ul>
		睡眠	<ul style="list-style-type: none"> <li>一人ひとりの生活リズムを大切に安心して眠る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>信頼できる保育士のもとで安心して眠る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>保育士に見守られながら、安心して十分に眠る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>落ちついた雰囲気の中で十分に眠る。</li> </ul>
		排泄	<ul style="list-style-type: none"> <li>おむつを取りかえてもらい、心地よさを感じる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>機嫌の良い時やおむつが汚れていないときなど、保育士に誘われておまるや便器に座る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>トイレに行き、便器での排泄に慣れる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>保育士が見守る中でトイレに行き、自分で排泄する。</li> </ul>
	着脱・清潔	<ul style="list-style-type: none"> <li>体、衣服、身のまわりのものを清潔にもらい、気持ちよく過ごす。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>体、衣服、身のまわりのものを清潔にもらうことで、心地よさを感じる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>保育士のやさしい言葉かけや援助で、衣服の着脱に興味をもつ。</li> <li>清潔になった心地よさを感じ、保育士と一緒に手洗いなどをする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>着替えや簡単な身のまわりのことを自分でしようとする。</li> <li>保育士に見守られながら、手洗いやうがいの仕方を身につけていく。</li> </ul>	
内容	遊び	<ul style="list-style-type: none"> <li>立位での抱っこ、屈伸、腹ばいなど、体位をかえてもらって遊ぶ。</li> <li>保育士が見せるおもちゃを目で追ったり、自分の手を動かしたりする。</li> <li>保育士に抱っこをされ、外気にあたり心地よさを感じる。</li> <li>やさしく語りかけてもらったり、歌いかけられたり、泣き声や喃語に responding てもらいながら心地よく過ごす。</li> <li>聞く、見る、触れるなどができる玩具で遊ぶを楽しむ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>寝返り、はいはい、お座り、伝い歩き、立つ、歩くなどの活動を楽しむ。</li> <li>つまむ、たたく、ひっぱるなど手や指を使って遊ぶ。</li> <li>保育士に見守られ、安心して玩具や身もまわりのもので、ひとり遊びや探索行動を楽しむ。</li> <li>保育士と一緒に身近な植物や虫を見て楽しむ。</li> <li>喃語や片言をやさしく受けとめてもらい、発語や保育士とのやりとりを楽しむ。</li> <li>保育士の歌を聞いたり、歌やリズムに合わせて、手足や体を動かすことを喜ぶ。</li> <li>保育士と一緒に色々な素材に触れて、感触を楽しむ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>保育士に見守られ外遊び、ひとり遊びを楽しむ。</li> <li>全身を使った遊びや手や指を使う遊びを楽しむ。</li> <li>保育士や友だちと一緒に好きなおもちゃで遊ぶ。</li> <li>身近な虫や植物を保育士と一緒に見たり、触れたりする。</li> <li>保育士の語りかけを喜んだり、自分から片言でしゃべることを楽しむ。</li> <li>興味のある絵本を保育士と一緒に見ながら、簡単な言葉の繰り返しや模倣を楽しむ。</li> <li>好きな歌を歌ったり、簡単な手遊びを楽しむ。</li> <li>水、砂、紙、クレヨン、粘土などの素材に触れて楽しむ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>固定遊具や玩具で全身を使った遊びを楽しむ。</li> <li>手や指を使う遊びを楽しむ。</li> <li>保育士を仲立ちとして、身のまわりに様々な人がいることを知り、徐々に関わって遊ぶ。</li> <li>身のまわりの生き物、植物、自然現象などに興味、関心をもつ。</li> <li>自分の気持ちや要求を言葉であらわし、生活や遊びの中で言葉のやりとりを楽しむ。</li> <li>絵本や紙芝居を楽しんで見たり、繰り返しの言葉の模倣を楽しむ。</li> <li>簡単な歌や手遊び、リズム遊びを楽しむ。</li> <li>保育士や友だちと一緒に水、砂、紙、クレヨン、粘土などの素材に触れて楽しむ。</li> </ul>	

H19年度 上矢部保育園 年間活動計画 資料2-1

	保育		クッキング	家庭への発信	
		行事			
4月	各クラスの保育	誕生会 クラス懇談会	グループ クッキング (5歳児) 毎週月曜・年間	・クラスだより ・レシピ提供 ・園だより ・給食サンプル展示 ・食育に関する本の貸し出し	・給食室へのQ&A
5月		誕生会 遠足(各クラス) 尿・ぎょう虫卵検査		・オープンだより ・レシピ提供 ・園だより ・食育モニター掲示	・給食室へのQ&A ・給食サンプル展示
6月		誕生会 健康診断 公開保育と 給食試食会  歯科健診		・酒井先生の保護者向け講演会 ・給食・離乳食サンプル展示 ・レシピ提供 ・オープンだより ・食育だより・園だより ・食器、食具、弁当箱などの展示	・給食室へのQ&A ・食育モニター掲示 栄養士の仕事 季節を食べよう 季節の果物 パン派? ご飯派?
7月		誕生会 七夕まつり 夏あそび	夏野菜カレー (5歳児) とうもろこしの皮 むき (2歳児)	・オープンだより ・レシピ提供 ・園だより ・ホームページ作成 ・職員レシピ掲示	・給食室へのQ&A ・離乳食展示 主食提供後の子どもの姿 季節を食べよう
8月		誕生会	パフェアイス (0、1歳児)	・オープンだより ・レシピ提供 ・園だより ・ホームページ作成	・給食室へのQ&A ・食育モニター掲示 ・食育コーナー 季節を食べよう
9月		プール開い 誕生会	食パンマーガリン (0、1歳児) 食材紹介 (2歳児)	・給食室へのQ&A ・給食・職員レシピ提供  ・園だより ・給食・離乳食サンプル展示	・食育コーナー 季節を食べよう
10月	地場野菜を 食べよう	運動会 遠足(各クラス)  誕生会 健康診断	手作りふりかけ (5歳児)  ラップおにぎり (3歳児)  サンドイッチ (2歳児)	・食育モニター掲示 ・給食・離乳食サンプル展示 ・レシピ提供 ・食育コーナー ・園だより  ・オープンだより ・ホームページ作成	・給食室へのQ&A 季節を食べよう
11月		保育ウィーク 誕生会  歯科健診	ポップコーン (4歳児)  さつまいもチップ ス(3歳児)	・地域・保護者向け講演会 ・レシピ提供 ・園だより ・給食室へのQ&A ・給食・離乳食サンプル展示	・食育モニター掲示 季節を食べよう 離乳食について 〇〇家の食卓

	保育		クッキング	家庭への発信
		行事		
12月	各クラスの保育	誕生会 おたのしみ会 子ども忘年会	ホットケーキ (4・5歳児)  ケーキクリーム しぼり (0, 1歳児)	<ul style="list-style-type: none"> <li>給食・離乳食サンプル展示</li> <li>給食・職員レシピ提供</li> <li>園だより</li> <li>ホームページ作成</li> <li>給食室へのQ&amp;A</li> <li>オープンだより</li> <li>食育モニター掲示</li> <li>食育コーナー 季節を食べよう</li> </ul>
1月		懇談会と おやつ試食会 誕生会	ラップおにぎり (2歳児) すいとん (4歳児) おだんご (3歳児)	<ul style="list-style-type: none"> <li>保護者の声ノート</li> <li>レシピ提供</li> <li>園だより</li> <li>ホームページ作成</li> <li>オープンだより</li> <li>おやつ試食会</li> <li>ごちそうさま通信の掲示</li> <li>給食・離乳食サンプル展示</li> <li>給食室へのQ&amp;A</li> <li>食育コーナー { 季節を食べよう おせち料理と 七草がゆ</li> </ul>
2月		豆まき お店屋さんごっこ 誕生会	クレープ (4歳児)	<ul style="list-style-type: none"> <li>給食・離乳食サンプル展示</li> <li>給食・レシピ提供</li> <li>園だより</li> <li>ホームページ作成</li> <li>食育だより(試食会情報)</li> <li>職員レシピ掲示</li> <li>給食室へのQ&amp;A</li> <li>食育コーナー { 季節を食べよう 節分</li> <li>食育モニター掲示</li> <li>保護者のレシピ掲示</li> </ul>
3月		ひなまつり誕生会 お別れ遠足 お別れ会 卒園式	クッキー (5歳児) フルーツポンチ (2歳児)	<ul style="list-style-type: none"> <li>モグパク掲示板(まとめ)</li> <li>レシピ提供</li> <li>園だより</li> <li>オープンだより</li> <li>ホームページ作成</li> <li>給食・離乳食サンプル展示</li> <li>給食室へのQ&amp;A</li> <li>食育コーナー { クッキングの様子展示 季節を食べよう</li> </ul>

年間目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ <u>保育士や友だちと一緒に好きな遊びを十分に楽しむ。</u></li> <li>・ <u>戸外遊びや散歩など体を十分に動かしたり、手や指を使った遊びを楽しみながら、たくさんの経験を</u> <u>する。</u></li> <li>・ <u>安定した関わりの中で簡単な身のまわりのことを行いながら、自分で出来る喜びを味わう。</u></li> </ul>		
期	月	ねらい	内容(子どもの姿)
I期	4月 ～ 5月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ <u>新しい環境になじみ安定して過ごす。</u></li> <li>・ <u>保育士に手伝ってもらいながら身のまわりのことを自分でしようとする。</u></li> <li>・ <u>友だちや保育士と関わりながら好きな遊びを楽しむ。</u></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 保育士や担任など、新しい生活の場や園生活のリズムに少しずつ慣れる。</li> <li>・ <u>楽しい雰囲気の中でフォーク等を持ち、自分で食べる。</u></li> <li>・ <u>嫌がらずにトイレに行き、自分で排泄する。</u></li> <li>・ <u>落ちついた雰囲気の中で十分に眠る。</u></li> <li>・ <u>自分の好きな遊びや場所を見つけて遊ぶ。</u></li> <li>・ <u>保育士と一緒に歌ったり、手遊びを楽しむ。</u></li> </ul>
II期	6月 ～ 8月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ <u>いろいろな遊びを通して、保育士や友だちと一緒に遊ぶ楽しさを知る。</u></li> <li>・ <u>水、砂、泥にふれながら、夏の遊びを楽しむ。</u></li> <li>・ <u>夏の遊びを十分に楽しみながら、健康に過ごす。</u></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ <u>友だちや保育士と楽しく食事する中で、苦手なものでも少しは食べてみようとする。</u></li> <li>・ <u>簡単な衣服は自分で着脱しようとする。</u></li> <li>・ <u>尿意を伝えたり、保育士に促され、トイレで排泄をする。</u></li> <li>・ <u>水、砂、泥に触れ、感触を楽しみながら夏の遊びを楽しむ。</u></li> <li>・ <u>ちぎる、丸めるなどの指先を使った遊びをする。</u></li> </ul>
III期	9月 ～ 12月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ <u>戸外でのびのびと体を動かし、いろいろな運動遊びを楽しむ。</u></li> <li>・ <u>いろいろな遊びを通して、友だちと関わって遊ぶ楽しさを味わう。</u></li> <li>・ <u>色々な行事や遊びを通して、人との関わりを楽しみ広げていく。</u></li> <li>・ <u>表現遊びやごっこ遊びを楽しむ。</u></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ <u>遊びを通して、箸に触れたり、興味をもったりする。</u></li> <li>・ <u>尿意を感じ自分でトイレに行って排泄する。</u></li> <li>・ <u>脱いだ服をたたんだり、自分で袋にしまったりする。</u></li> <li>・ <u>決まった場所におもちゃの片付けをする。</u></li> <li>・ <u>散歩や戸外遊びを通して、秋の自然に触れたり、色々な人(地域)との関わりを持つ。</u></li> <li>・ <u>自分の思いや要求を言葉で伝えようとする。</u></li> </ul>
IV期	1月 ～ 3月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ <u>ごっこ遊びやルールのある遊びを通して友だちと一緒に遊ぶことを楽しむ。</u></li> <li>・ <u>異年齢との関わりを持ちながら、色々な遊びに興味を持ち楽しむ。</u></li> <li>・ <u>生活習慣が大体身につく、進級への期待を持って生活する。</u></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ <u>お皿を持って食べるなど、食事の約束事がわかり、楽しく食べる。</u></li> <li>・ <u>箸を使って食事する。</u></li> <li>・ <u>ズボンやパンツを全部脱がずに排泄する。</u></li> <li>・ <u>できない所は手伝ってもらいながら、衣服の着脱を自分で行う。</u></li> <li>・ <u>いろいろな素材や用具に興味を持ち、描いたり作ったりして表現を楽しむ。</u></li> <li>・ <u>異年齢と過ごし、関わりを喜ぶ。</u></li> </ul>



年間目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 社会生活に必要な能力を身につける。</li> <li>・ 異年齢の子どもとの関わりを進んで持ち、思いやりの気持ちをもつ。</li> </ul>		
期	月	ねらい	内容(子どもの姿)
I期	4月 ～ 5月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 年長組になった喜びを感じながら、園生活を楽しむ。</li> <li>・ 気の合う友だちと関わりながら、遊びを楽しむ。</li> <li>・ コーナー、縦割り活動の中に意欲的に参加する。</li> <li>・ 園生活のルールを守り、自分の物や共用の物を大切に使う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自分たちでできることを考えたり、進めたりしながら、年長組としての自覚をもち、喜びを味わう。</li> <li>・ 自分の気持ちを友だちに伝えながら、好きな遊びを十分楽しむ。</li> <li>・ コーナー、縦割り活動に積極的に参加し、年下の子の面倒をみようとする。</li> <li>・ 園生活のルールを守ろうとする。自分の持ち物を整頓すると共に、皆で使う物を大切に扱う。</li> </ul>
II期	6月 ～ 8月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 友だちと関わりながら、遊びを広げていく楽しさを味わう。</li> <li>・ <u>身近な社会や自然環境と自分たちの生活との関係に気づき取り入れて遊ぶ。</u></li> <li>・ 自分なりに考えたり、工夫したりしながら遊びを楽しむ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 友だちと遊ぶ中で互いの気持ちがわかり、一緒に楽しもうとする。</li> <li>・ <u>身近な動植物に親しみをもち、世話をしたり、興味や関心を持ったりする。</u></li> <li>・ 夏ならではの遊びを楽しむ。</li> <li>・ 友だちと一緒に描いたり、作ったりすることや色々な素材や用具を使うことを楽しむ。</li> </ul>
III期	9月 ～ 12月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自分なりの目的をもって、意欲的に取り組もうとする。</li> <li>・ 友だちと考えを出し合い、工夫したり試したりしながら遊びを進めていく楽しさを味わう。</li> <li>・ <u>積極的に外に出て遊び、様々な運動器具に取り組む、工夫して遊ぶ。</u></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自分なりの目標をもって試したり、工夫したりしながら、繰り返し挑戦していく。</li> <li>・ 思いついたことや考えたことを友だちと互いに出し合い、遊びにいかしていこうとする。</li> <li>・ <u>全身を使う運動的な遊びに力いっぱい取り組み、充実感を味わう。</u></li> <li>・ 年少、年中児との交流を深め、親しみの気持ちを持つ。</li> </ul>
IV期	1月 ～ 3月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 友だちと共通の目的をもち、協力しながら取り組んでいく楽しさを味わう。</li> <li>・ 経験してきた遊びを楽しむ。</li> <li>・ 入学の期待をもって生活する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 子ども同士でルールを相談したり、友だちとの遊びを取り入れたりしながら遊ぶ。</li> <li>・ 友だちと一緒に目的に向かって、取り組み、やり通したことを喜び合う。</li> <li>・ 入学することへの期待と喜びをもち、進んで遊びや仕事に取り組む。</li> </ul>

## 〈実践の中で見直した点〉

保育計画から年間指導計画、月案へとつながりを持たせ、今の状況に合わせながら今後を見通した保育計画の作成に取り組みました。使用している保育計画に心情、意欲、態度の視点がどう入っているか、わかりやすいように色分けし、話し合いを進めてきました。色分けすることで、どの視点が足りないのかが見えてきました。年齢ごとのつながり、子どもの育ちの見通しを食育の視点を含めて、明確にし保育計画作りを進めました。

年間計画では4月当初の子どもの姿を見通して立案しましたが、子どもの変化や成長や保育をすすめる中で、計画と実際の子どもの姿にズレが生じていたら、柔軟に対応し子どもの今の姿を捉えて具体的に内容を修正しながら計画を立て保育を行いました。

食育モデル園2年目ということで、食育に関する取り組みは、ほぼ計画に沿って行うことができました。昨年新たな取り組みとして、実施した外部との連携を、今年度はより一層広げ、保育に取り入れ、計画、実施をしました。その時の子どもたちの姿を捉え、機会を活かして保育に取り入れたことで、子どもたちの育ちにまたあらたな原動力を与えることにつながりました。

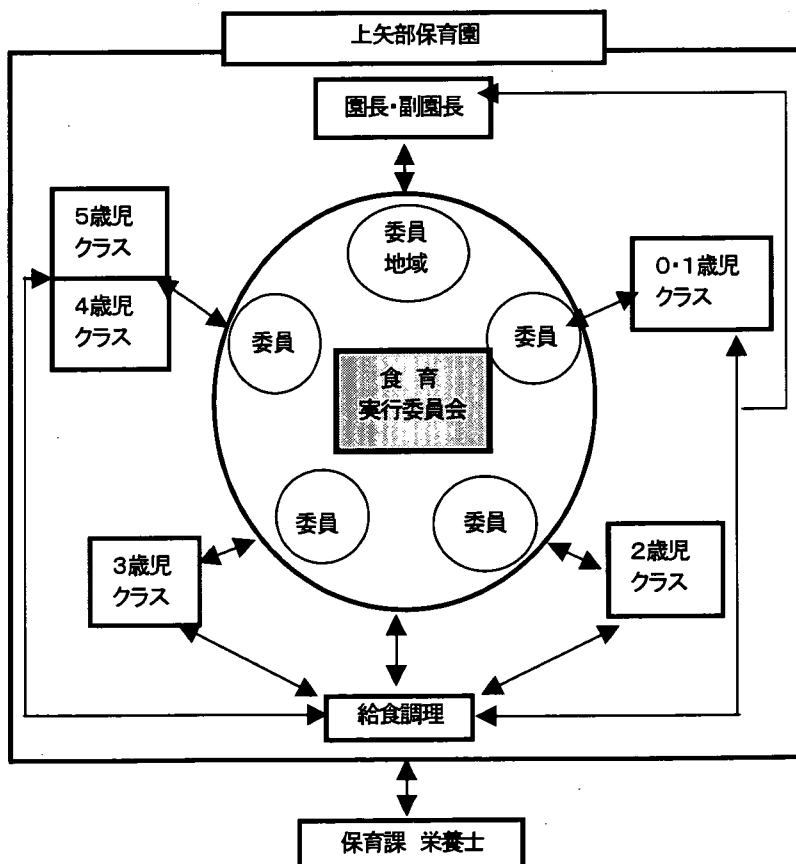
## 2) 職員間の協力体制づくりの工夫

### 食育実行委員

・0・1歳児、2歳児、3歳児、4・5歳児クラスから1名ずつと園長、副園長、地域担当のいる事務室から地域担当がでて、計5名で構成し、食育実行委員が主導となり、全体のリードを取り、各クラスへ連絡、調整できるようにしました。食育実行委員会のメンバーがクラス、給食室、事務室、保育課の栄養士とのパイプ役となることで連携を深め、全体の食育を効率的にすすめることができました。

・前年度は食育実行委員が中心で行うことが多く、自分で実際に携わっていない職員も多く、職員全体の周知や理解が不十分でした。そこで、一年間の取り組みを整理して、今年度は5本の柱とした組織編成を行い、それぞれの役割に応じて、企画、実行しました。全員食育をめざした姿勢作りをし、共通理解を進めることができました。

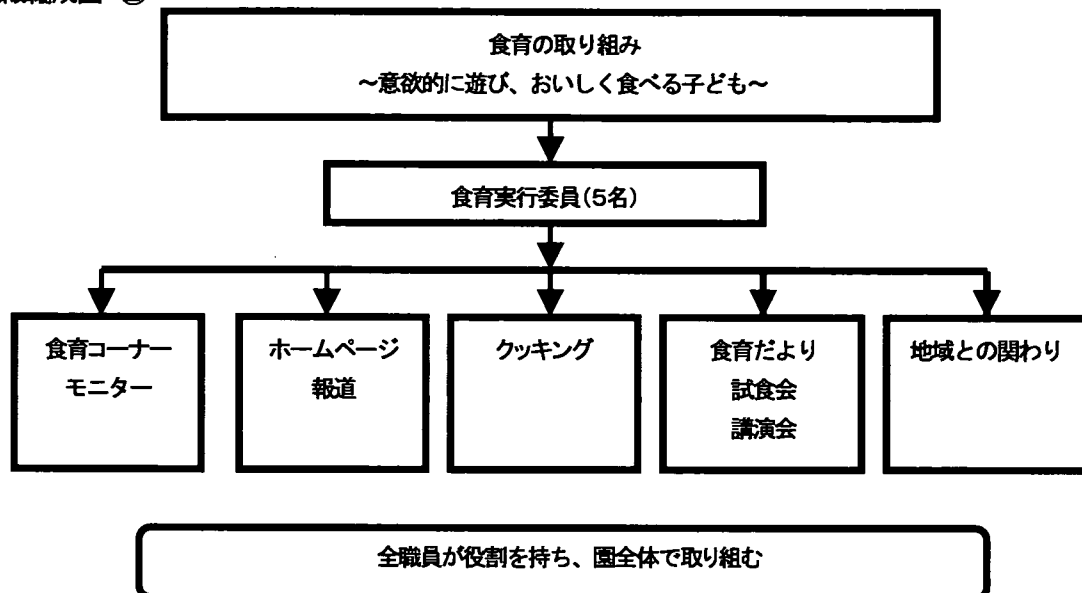
協力体制図 ①



### 組織編成

- ①食育コーナー・食育モニター
- ②ホームページ
- ③クッキング
- ④食育だより・試食会・講演会
- ⑤地域の関わり

組織編成図 ②



#### クラスの中での連携

0・1歳児クラス……食事のすすみ具合や好き嫌いの有無などを食事後すぐに声に出して伝えるようにしました。食事時間での職員の係分担とポジションを決め、子どものそばにつく職員がなるべく動かずに食事指導ができるようにしました。

- ・アレルギーを持っている子どもは別室にて、1対1で食事をし、食事状況、体調の変化がないように確認しました。アナフィラキシーの症状が起こった時は、手順にそって対応するようにしました。

- ・食事状況について、職員同士で把握、確認し、保護者への連絡事項を連絡帳に記入しています。

2歳児クラス……職員の動きを最小限し、係分担をし、ポジション(準備配膳・手洗い・子どもの援助・子どもへの導入)を決めて、子どもに関わるように工夫しました。

- 一人ひとりの食事の量や状況を把握し、対応や量の加減をしながら食事をすすめています。

3歳児クラス……子どもの変化や気づきを捉えて、常に情報交換をしながら、計画に反映していくようにしました。クッキングの際には計画の立案者がリードし、他職員がフォローするようにしました。

4・5歳児クラス……ランチルームの環境を整え、子どもの変化や気づきを話し合い、共通理解をしました。

- ・オープンな話し合いの中で、月のランチルーム内の目標を決めて、それに向けての指導方法などを話し合っています。反省点など月末の話し合いに持ちより、次月に活かしていきました。子どもと一緒に食事をした中で気づいた点、子どもの変化をその都度伝え合いました。

- ・3歳児のクラス職員にも、ランチルームでの様子を伝え、3歳児が合流する時の準備段階へとしています。

- ・計画作りの段階で子どもの成長、発達、食事のすすみ具合などを確認し、大枠の計画の打ち合わせをし、担当者が計画書を作成し、互いに確認しながら一貫した取り組みができるようにしました。

保育室と給食室との連携・・・離乳食状況を把握し、保育士と確認しました。子どもの手洗い指導、グループクッキングなどがスムーズに行えるように打ち合わせをし、関わりました。子どもたちの目の前で配膳をしたり、ランチルームではバイキングの方法(トングの種類や主菜等の並べ方等)伝えました。

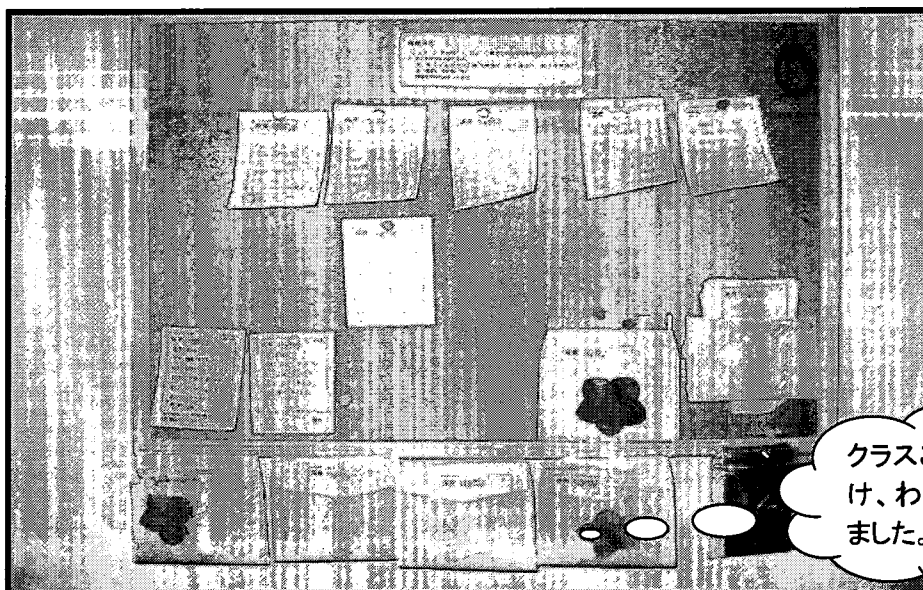
保育士と栄養士との連携・・・クッキング活動や地域のボランティア団体を迎えた取り組みでは、助言・相談ができるようにコミュニケーションをとりながらすすめました。また、地域子育て支援活動のアドバイザーとして、参加してもらい、専門的に答えてもらいながら、食事の大切さを伝えました。

・5歳児のクッキングでは、子どもたちの活動に参加し、個別に子どもたちにわかりやすく説明してもらったり、一緒に調理を体験してもらうことで、栄養士さんを覚え、「この前も来てくれたよね。」と親しむ子どもたちの姿がありました。

#### 職員全体(正規職員、臨時職員、非常勤職員)の連携

「保育メモボード」を設置し、保育の中で印象に残った子どもの姿やつぶやきを「保育メモ」に書き、保育士室のコルクボードにはりつけ、職員間で共有、共感できるようにしました。食育実行委員会の記録や結果などを紙ベースで配布したり、回覧したり、また、実際の活動の中に参加してもらいながら、伝え合っています。

#### ☆保育メモボード



**保育メモ**                      ○月◇日  
Sくん  
園庭でスクーターに乗っていたS君。誕生会があることを伝え、入室を促すと、「どうして?」「何やるの?」と聞きたいことがたくさん。1つひとつ答えていくと、「行く!」と上手に片付けができました。1つひとつのやりとりを大切にしながらS君のがんばりの芽を十分伸ばしていきたいです。  
S保育士

**保育メモ**                      ○月◇日  
なかなか食事が進まないSちゃん。給食の先生と相談して、アレルギーのあるSちゃんに除去食がない日も大好きなピンクのトレーに乗せてもらうことにしました。「Sちゃん上手に食べられるようになったからだね!嬉しいね」と話すと・・・気分もリリ♪楽しい食事の時間になってます。  
I保育士